

金沢大学大学院自然科学研究科（博士前期課程）
人間・機械科学専攻／物質工学専攻／社会基盤工学専攻

日中韓 環境・エコ技術特別コース

2012年10月入学者対象 募集要項(中国・韓国用)

金沢大学大学院自然科学研究科では、日本・中国・韓国の国境を越えて持続可能な社会発展を支える環境技術についての知識・技能を有する技術者(エコ・エンジニア)を養成し、東アジアの製造業企業の資源循環・環境負荷低減に資する人材を育成するために、自然科学研究科博士前期課程の人間・機械科学専攻、物質工学専攻、社会基盤工学専攻を横断する形で、2011年4月「日中韓 環境・エコ技術特別コース」を設置しました。

今回、2012年10月入学予定の中国人・韓国人留学生を下記のとおり募集します。

1. 応募・選抜日程

月日・期間	実施項目
2011年11月7日(月)～11月25日(金)	応募期間
2011年11月30日(水)	第1次審査(書類審査)結果通知
2011年12月中旬(予定)	第2次審査(筆記試験・口述試験)
2012年1月下旬(予定)	第2次審査結果・合否通知
2012年10月1日	入学

2. 応募資格・条件等

●募集定員

中国人留学生・韓国人留学生 合わせて8名(日本人学生4名は別途募集)

●募集分野

環境工学(大気環境、水環境、土壌環境、廃棄物など)の分野

●応募にあたっての分野・教員の選択と事前相談

応募時に、金沢大学での希望専攻(人間・機械科学専攻、物質工学専攻、社会基盤工学専攻)と希望主任指導教員を選択してください。

今年度、受入れを可とする教員は巻末の教員一覧のとおりです。各教員の専門分野、研究課題、Eメールアドレスをホームページで確認してください。

応募に先立ってEメール等で、直接、希望主任指導教員に連絡を取り、受入れに

ついでに相談を必ず行ってください。事前の受入れ相談が無かった場合、書類選考を受けることはできませんので、注意してください。

参照URL http://kurt.kanazawa-u.ac.jp/souran_ku/index.php

●**学歴**

本学が指定する中国・韓国の4年制大学(学部)を卒業した者または2012年9月30日までに卒業見込の者であって、卒業校・在学校の部局長(学部長等)以上の推薦を受けた者。(※指定校一覧表は巻末に掲載)

●**学業成績による基準**

日本国政府が定める学業成績評価係数が直近の過去2年間で2.0以上であること。なお、日本国政府が定める成績評価係数の計算式は次のとおりです。

〔学業成績係数の算出方法〕

下記の表により「評価ポイント」を算出し、計算式に当てはめて計算すること。

区 分	成 績 評 価				
	優	良	可	不可	
4段階評価	A	B	C	F	
4段階評価	100～80点	79～70点	69～60点	59点～	
5段階評価	S	A	B	C	F
5段階評価	A	B	C	D	F
5段階評価	100～90点	89～80点	79～70点	69～60点	59点～
評価ポイント	3	3	2	1	0

(計算式)

$$\frac{(\text{評価ポイント}3\text{の単位数}) \times 3 + (\text{評価ポイント}2\text{の単位数}) \times 2 + (\text{評価ポイント}1\text{の単位数}) \times 1 + (\text{評価ポイント}0\text{の単位数}) \times 0}{\text{総登録単位数}}$$

総登録単位数

●**年齢**

1986年4月2日以降に出生した者。

ただし、韓国で兵役に就いていた者については、上記年齢制限について考慮します。その場合は、兵役期間の証明書を添付資料として提出してください。

●**健康**

心身ともに大学における学業に支障がない者。

●**日本語等**

積極的に日本語及び日本企業における環境技術やビジネスを学習しようとする意欲のある者。さらに、日本について関心があり、渡日後も進んで日本に対する理解を深めようとする意欲があり、日本で研究・学業に従事し、生活に適應する能力を有すること。

3. 応募手続きと選考について

(1) 応募手続きについて

●応募書類の提出

指定校の留学生事務担当窓口を通して、国際郵便(EMS)で下記の応募期間中に応募宛先へ到着するよう提出してください。

応募期間 2011年11月7日(月)～11月25日(金)必着
応募宛先 920-1192 石川県金沢市角間町 金沢大学大学院自然科学研究科
学生課学務第二係(日中韓 環境・エコ技術特別コース)

応募書類

- (1) 応募チェックシート(所定様式)
- (2) 申請書(所定様式)
- (3) 研究計画書(所定様式)
- (4) 志願理由書(所定様式)
- (5) 指定校の推薦状(指定校の部局長(学部長等)以上の推薦を得ること)
- (6) 指定校の成績証明書
- (7) 指定校の卒業証明書または卒業見込証明書
- (8) 在学証明書等(現在、在学中の者)
- (9) 韓国の学生で、兵役に就いていた場合にあつて年齢制限を超える者は、兵役期間の証明書。
- (10) 卒業論文概要等(様式自由。A4版2～3枚程度)
- (11) 小論文(課題文記載の所定様式)
- (12) 日本語能力に関する資格を有する者は、その資格証明書
- (13) 英語能力に関する資格を有する者は、その資格証明書(TOEIC または TOEFL スコア)

★上記の所定様式は、下記 URL に PDF または Word(ZIP 圧縮)で用意されています。ダウンロードしてご利用ください。

<http://www.se.kanazawa-u.ac.jp/ecotechgp/>

- (注1) これらの書類は、日本語又は英語により作成するか、日本語又は英語による訳文を必ず添付すること。
- (注2) 申請書に添付する写真については、コピーは不可とする。
- (注3) 研究計画書は、選考の際の重要な資料となることから、自身の研究計画を明確に記載すること。
- (注4) 指定校成績証明書は、大学学部、大学院の学年毎に取得した全科目の成績が分かるもので、かつ、その成績が何段階で評価されているか明確に分かるものとする。
- (注5) 卒業論文概要等は、発表論文や卒業論文・卒業研究等の要約・サマリー・計画等を提出すること。ただし、これらは学力判定の基礎資料となることに留意すること。

(2) 選考内容・選考結果通知について

【第1次審査】

提出された書類に基づき、専門分野の能力、語学力、環境・エコ技術特別コースに対する意欲等を審査します。

第1次審査の選考結果は、本人および当該指定校留学生事務担当窓口にて2011年11月30日(水)にEメールにて通知します。

【第2次審査】

第1次審査の合格者に対し、専門科目にかかる筆記試験およびインターネットを介した口述試験(面接)を、ソウル、上海、大連で実施します。

詳しい日程は、第1次審査合格者に個別にEメールにて通知します。

4. 奨学金等

(1) 奨学金

●奨学金支給期間・支給額(予定)

2012年10月から2014年9月までの正規課程の2年間、「金沢大学外国人留学生交流促進特別枠」奨学金として、月額70,000円が支給されます。

また、下記のいずれかの条件を満たす者には、特別に月額30,000円を加算して支給します。

- ① 日本語能力に優れ、日本語能力試験2級(新N2レベル)以上の資格を有する者。
- ② 英語能力に優れ、TOEIC 650点以上またはTOEFL-iBT 69点以上またはTOEFL-PBT 522点以上の資格を有する者。

●奨学金についての注意事項

大学を休学又は長期に欠席した場合、奨学金の支給は停止されます。

あわせて、留年等による延長は認められません。

また、次の場合には、奨学金の支給を取り止めます。

- ① 申請書類に虚偽の記載があることが判明したとき。
- ② 大学又は日本語等予備教育機関において退学等の懲戒処分を受けたとき、あるいは除籍となったとき。
- ③ 学業成績不良や停学等により標準修業年限内での修了が不可能であることが確定したとき。
- ④ 入管法別表第一の四に定める「留学」の在留資格が得られなかった場合、および、他の在留資格に変更になったとき。
- ⑤ 他の奨学金(使途が研究費として特定されているものを除く。)の支給を受けたとき。

(2) 旅費

渡日旅費・帰国旅費は支給されません。

(3) 授業料等

金沢大学における検定料、入学料、授業料は免除されます。

6. その他応募に当たっての注意事項

- (1) 日本の他大学の国費留学生との併願・重複申請はできません。このような重複申請が発覚した場合は、学生本人の金沢大学への推薦・申請を不許可とするとともに、出身大学からの他の学生の推薦・申請も不許可とし、その出身大学を本学指定校から除外します。
- (2) 金沢大学における講義・実験・実習等の研究指導は、原則として日本語で行われます。
- (3) 合格者は、渡日に先立ち、日本語を学習し、日本・石川県の気候、風土、習慣、金沢大学の状況等について、あらかじめ十分承知しておくよう努めてください。
- (4) 渡日前の日本語学習が不十分と判断された場合、合格を取り消す場合があります。
- (5) 合格者は、渡日後、当座の生活資金として、日本円で 200,000 円程度を用意するよう努めてください。
- (6) 合格者は、2012 年 9 月 30 日までに渡日してください。
- (7) 日本での住居については、金沢大学より斡旋・紹介します。
- (8) 現役軍人又は軍属の資格のまま、留学生となることはできません。
- (9) この要項に記載してある事項について、不明な箇所、またはこれ以外で疑問があれば電子メールまたは FAX により、下欄の担当窓口へ問い合わせてください。

《注意》

2012 年 4 月に自然科学研究科の専攻の統廃合が予定されています。2012 年 4 月以降に下表のように専攻の名称が変更になる点をご了解ください。

～2012 年 3 月	2012 年 4 月～
人間・機械科学専攻	機械科学専攻
物質工学専攻（化学コース）	物質化学専攻
物質工学専攻（化学工学コース）	自然システム学専攻
社会基盤工学専攻	環境デザイン学専攻



金沢大学大学院自然科学研究科
学生課学務第二係

〒920-1192 石川県金沢市角間町 金沢大学
Phone: +81-76-234-6853 Fax: +81-76-234-6844
<http://www.se.kanazawa-u.ac.jp/echotechgp/>
E-mail: asiainfo@t.kanazawa-u.ac.jp

【巻末資料】

2012年度 日中韓 環境・エコ技術特別コース 学生受入れ予定指導教員一覧			
			2011.09.22現在
●人間・機械科学専攻			
氏名 Name	役職	主な分野 Reseach Field	Homepage URL
児玉 昭雄	教授	吸着プロセス、空気分離、デシカント空調、排熱・太陽熱利用	http://kurt.kanazawa-u.ac.jp/souran_ku/info.php?teacher_id=316
大坂 侑吾	助教	燃焼ガスからの超深度脱硫に関する研究	http://kurt.kanazawa-u.ac.jp/souran_ku/info.php?teacher_id=1127
●物質工学専攻			
氏名 Name	役職	主な分野 Reseach Field	Homepage URL
大谷 吉生	教授	エアロゾル、エアフィルタ、ナノ粒子、肺内粒子沈着	http://kurt.kanazawa-u.ac.jp/souran_ku/info.php?teacher_id=277
太田 明雄	准教授	界面物理化学・アミノ酸型界面活性剤、界面活性剤、生体関連物質、熱量測定	http://kurt.kanazawa-u.ac.jp/souran_ku/info.php?teacher_id=573
汲田 幹夫	准教授	熱・物質移動、吸着・収着冷凍、バイオマス利用	http://kurt.kanazawa-u.ac.jp/souran_ku/info.php?teacher_id=535
小林 史尚	准教授	バイオプロセス、バイオレメディエーション、バイオエアロゾル、バイオマス	http://kurt.kanazawa-u.ac.jp/souran_ku/info.php?teacher_id=260
瀬戸 章文	准教授	微粒子工学、エアロゾル	http://kurt.kanazawa-u.ac.jp/souran_ku/info.php?teacher_id=945
高橋 憲司	准教授	イオン液体、マイクロ波、時間分解分光、バイオエタノール生成、無水糖、光反応による水素生成	http://kurt.kanazawa-u.ac.jp/souran_ku/info.php?teacher_id=304
滝口 昇	准教授	プロセス、生物情報、生物機能	http://kurt.kanazawa-u.ac.jp/souran_ku/info.php?teacher_id=1044
長谷川 浩	教授	水圏化学、環境分析化学、環境修復、自然サイクル、レアメタル	http://kurt.kanazawa-u.ac.jp/souran_ku/info.php?teacher_id=581
牧 輝弥	准教授	分析化学、微生物生態、環境化学、生物分析化学、海洋微生物学、大気微生物学、資源循環、バイオエアロゾル	http://kurt.kanazawa-u.ac.jp/souran_ku/info.php?teacher_id=532
●社会基盤工学専攻			
氏名 Name	役職	主な分野 Reseach Field	Homepage URL
池本 良子	教授	下水道、下排水処理、生物処理、水環境、微生物群集、硫酸塩還元	http://kurt.kanazawa-u.ac.jp/souran_ku/info.php?teacher_id=541
関 平和	教授	環境解析学、土壌環境工学、堆肥化学	http://kurt.kanazawa-u.ac.jp/souran_ku/info.php?teacher_id=462
沈 振江	准教授	インベントリーコントロールアプローチ、環境総量規制を用いた都市成長管理シミュレーション、エージェントベースモデル	http://kurt.kanazawa-u.ac.jp/souran_ku/info.php?teacher_id=470
畑 光彦	助教	エアロゾル、バイオマス燃焼、発生源対策技術	http://kurt.kanazawa-u.ac.jp/souran_ku/info.php?teacher_id=319
古内 正美	教授	大気環境評価、エアロゾル、ナノ粒子、個人曝露評価、環境浄化技術	http://kurt.kanazawa-u.ac.jp/souran_ku/info.php?teacher_id=819

●2012年度 日中韓 環境・エコ技術特別コース 海外指定校一覧		
国名・都市区分	大学名(日)	大学名(英)
中国・北京	北京師範大学	Beijing Normal University *
中国・北京	中国科学院地理資源研究所	Institute of Geographic Sciences and Natural Resources Research, Chinese Academy of Sciences *
中国・北京	中国科学院生態環境研究所	Research Center for Eco-Environmental Sciences, Chinese Academy of Sciences
中国・北京	清華大学	Tsinghua University
中国・大連	大連理工大学	Dalian University of Technology
中国・上海	華東理工大学	East China University Of Science and Technology *
中国・上海	同濟大学	Tongji university *
中国・浙江	浙江大学	Zhejiang University
中国・浙江	浙江工業大学	Zhejiang University of Technology
韓国・京畿道	檀国大学	Dankook University
韓国・ソウル	漢陽大学	Hanyang University
韓国・京畿道	慶熙大学	Kyung Hee University
韓国・ソウル	ソウル国立大学	Seoul National University
韓国・ソウル	成均館大学	Sungkyunkwan University